



安全データシート

Page 1 of 10

LOCTITE インスタントミックス硬化剤

SDS No. : 250222

V001.1

ヘンケルジャパン株式会社

改訂: 17. 01. 2022

発行日: 13. 06. 2024

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード : 2897489
製品名 : LOCTITEインスタントミックス硬化剤

会社名 :
ヘンケルジャパン株式会社
東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲 14F
140-0002
電話番号 : +81 (45) 758-1800

2. 危険有害性の要約

GHS分類 :

危険有害性クラス	危険有害性区分
眼に対する重篤な損傷性/眼刺 激性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3
水生環境有害性 (長期間)	区分 3

GHSラベル要素:

絵表示:



注意喚起語:

危険

ヘンケルジャパン株式会社

危険有害性情報:	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 H318 重篤な眼の損傷。
安全対策	H412 長期継続的影響により水生生物に有害。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。
応急措置:	P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。 P305+P351+P338+P315 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に診断/手当てを受けること。 P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄:	P501 廃棄するときは、適用法令、及び製品特性に従い、適切な処理・廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成、成分情報

危険有害成分及び濃度

成分	wt%
ポリメルカプタン硬化剤	80 - 90 %
3級アミン	10 - 20 %

4. 応急処置

皮膚にかかった場合:	流水と石けんで洗うこと。クリームを塗ること。汚染された衣類は交換すること。
眼に入った場合:	直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。必要な場合は医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合:	口をすすぎ、コップに1~2杯の水を飲むこと。無理に吐かせないこと。医師の診察を受けること。
吸入した場合:	空気の新鮮な場所へ移動させ、不快感が続く場合医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	二酸化炭素、泡、粉末、水噴射、微細な水噴霧
使ってはならない消火剤:	高圧水噴射
消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置:	自給式呼吸器を着用すること。 保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:** 十分な換気を保つこと。
皮膚や眼に触れないようにすること。
- 環境に対する注意事項** 下水管／地表水／地下水中に捨てないこと。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材:** 物理的に除去する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
安全取扱い注意事項** 作業場がよく換気／吸気されていることを確かめる。
皮膚および眼への接触を避けること。
粉塵形成を避けること。
- 保管:
安全な保管条件:** 他の容器に移し替えないこと。
容器をしっかりと密封しておくこと。
涼しく、乾燥した場所に保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

日本産業衛生学会

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list

管理濃度

参考

成分【規制物質】	ppm	mg/m ³	値型	短期暴露限界カテゴリー/備考	Regulatory list
----------	-----	-------------------	----	----------------	-----------------

設備対策: 作業場がよく換気/吸気されていることを確かめる。

保護具:

呼吸用保護具: 十分に換気ができない場合は適切な呼吸マスク

手の保護具: ニトリルゴム製の手袋の使用を推奨

眼の保護具: ぴったり閉じることができるゴーグル。

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護服

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態:	液体	色:	透明
pH:	該当なし, 混合物は (水に) 不溶	臭い:	無臭
沸点:	> 149 °C (> 300.2 °F)	融点:	データ無し/対象外
蒸気密度:	データ無し/対象外	密度:	1.00 - 1.11 g/ml
引火点:	> 257 °C (> 494.6 °F)	蒸気圧:	データ無し/対象外
爆発範囲 (下限):	データ無し/対象外	爆発範囲 (上限):	データ無し/対象外
水への溶解度:	データ無し/対象外	粘度:	10,000 - 15,000 cp
自然発火点:	データ無し/対象外	可燃性:	データ無し/対象外
オクタノール/水分係数:	データ無し/対象外	分解温度:	データ無し/対象外
粒子特性:	データ無し/対象外		

10. 安定性及び反応性

安定性:

反応性: 意図された目的に使用される場合は、無し

化学的安定性: 推奨保存状態下では安定している。
避けるべき条件: 加熱及び着火源を避ける。
意図された目的に使用される場合は、無し

混触危険物質: 適切に使用した場合特になし。

危険有害な分解生成物: 二酸化炭素
一酸化炭素

危険な重合反応: 起こらない。

11. 有害性情報

11.1. 毒物学的影響情報

急性毒性（経口）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	LD50	2,600 mg/kg	ラット	equivalent or similar to OECD Guideline 401 (Acute Oral Toxicity)
3級アミン	LD50	5,126 mg/kg	ラット	指定されていません

急性毒性（経皮）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	種	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	LD50	> 10,200 mg/kg	ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 402 (Acute Dermal Toxicity)
3級アミン	LD50	> 2,050 mg/kg	ラット	other guideline:

急性毒性（吸入）：

データなし

皮膚腐食性／刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	刺激性なし	4 h	ウサギ	OECD Guideline 404 (Acute Dermal Irritation / Corrosion)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	結果	ばく露時間	種	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	刺激性なし		ウサギ	equivalent or similar to OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)
3級アミン	Category 1 (irreversible effects on the eye)		ウサギ	OECD Guideline 405 (Acute Eye Irritation / Corrosion)

呼吸器又は皮膚感作性：

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	テストタイプ	種	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	sensitising	Mouse local lymphnode assay (LLNA)	マウス	OECD Guideline 429 (Skin Sensitisation: Local Lymph Node Assay)

生殖細胞変異原性:

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果	試験項目/管理経路	代謝活性化/ばく露時間	種	試験方法
3級アミン	陰性	bacterial reverse mutation assay (e.g Ames test)	有無		OECD Guideline 471 (Bacterial Reverse Mutation Assay)
3級アミン	陰性	in vitro mammalian chromosome aberration test	有無		OECD Guideline 473 (In vitro Mammalian Chromosome Aberration Test)
3級アミン	陰性			マウス	equivalent or similar to OECD Guideline 474 (Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test)

発がん性

データなし

生殖毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	テストタイプ	ばく露経路	種	試験方法
3級アミン	NOAEL P 500 mg/kg NOAEL F1 500 mg/kg	screening	oral: gavage	ラット	指定されていません

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) :

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) ::

混合物は、混合物に存在する分類された物質の閾値を基に分類されている。

有害物質	結果 / 値	ばく露経路	ばく露時間/処理頻度	種	試験方法
3級アミン	NOAEL > 500 mg/kg	oral: gavage	28 d daily	ラット	OECD Guideline 407 (Repeated Dose 28-Day Oral Toxicity in Rodents)

誤えん有害性 :

データなし

12. 環境影響情報

一般環境有害性情報:

下水管/地表水/地下水中に捨てないこと。

12.1. 生態毒性

毒性（魚）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	LC50	87 mg/l	96 h	Danio rerio	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)
3級アミン	LC50	> 1,000 mg/l	96 h	Oryzias latipes	OECD Guideline 203 (Fish, Acute Toxicity Test)

毒性（ミジンコ）：

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	EC50	12 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)
3級アミン	EC50	93 mg/l	48 h	Daphnia magna	OECD Guideline 202 (Daphnia sp. Acute Immobilisation Test)

水生無脊椎動物に対する慢性毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	NOEC	3.5 mg/l	21 d	Daphnia magna	OECD 211 (Daphnia magna, Reproduction Test)

毒性（藻類）：

ヘンケルジャパン株式会社

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	EC50	> 733 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga. Growth Inhibition Test)
ポリメルカプタン硬化剤	NOEC	338 mg/l	72 h	Desmodesmus subspicatus	OECD Guideline 201 (Alga. Growth Inhibition Test)
3級アミン	EC50	> 100 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga. Growth Inhibition Test)
3級アミン	EC10	> 100 mg/l	72 h	Pseudokirchneriella subcapitata	OECD Guideline 201 (Alga. Growth Inhibition Test)

微生物に対する毒性

混合物は、混合物に存在する分類された物質を基に分類する計算方法に基づいて分類されている。

有害物質	値型	値	ばく露時間	種	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	EC50	> 1,000 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)
3級アミン	EC50	820 mg/l	3 h	activated sludge of a predominantly domestic sewage	OECD Guideline 209 (Activated Sludge, Respiration Inhibition Test)

12.2. 残留性と分解性

有害物質	結果	テストタイプ	分解性	ばく露時間	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	容易に生分解されていません。	aerobic	5 %	28 d	OECD Guideline 301 B (Ready Biodegradability: CO2 Evolution Test)
3級アミン	容易に生分解されていません。	aerobic	1 %	28 d	OECD Guideline 301 C (Ready Biodegradability: Modified MITI Test (I))

12.3. 生態蓄積性

有害物質	生物濃縮係数	ばく露時間	温度	種	試験方法
3級アミン	< 2.3	28 d	25 ° C	Cyprinus carpio	OECD Guideline 305 (Bioconcentration: Flow-through Fish Test)

12.4. 土壌中の移動性

有害物質	LogPow	温度	試験方法
ポリメルカプタン硬化剤	1.2	20 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)
3級アミン	0.817	20 ° C	OECD Guideline 107 (Partition Coefficient (n-octanol / water), Shake Flask Method)

12.5. PBTおよびvPvB評価の結果

この混合物には、PBTまたはvPvBと評価される物質は含まれていません。

12.6. 他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

推奨廃棄方法: 廃棄物や残渣は地方自治体の規則にしたがって廃棄すること。

汚染容器包装の廃棄方法: 洗浄不可能なパッケージは、中の製品と同じ方法で処分すること。
国及び地方自治体の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

Marine transport IMDG:
危険物には該当しない。

Air transport IATA:

Class: 9
Packing group: III
Packing instructions (passenger) 964
Packing instructions (cargo) 964
UN no. : 3334
Label: 9
Proper shipping name: Aviation regulated liquid, n. o. s. (Mercaptan polymer)

国内輸送規制:

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合は定められている運送方法に従う。
海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。

15. 適用法令

労働安全衛生法: 該当しない

消防法 指定可燃物, 可燃性液体類.

毒物及び劇物取締法: 該当しない

PRTR 法: 該当しない

16. その他の情報

発行日: 13.06.2024

注意: この安全性データシートは日本工業規格（JIS: Z 7253）に基づいて作成しており、日本の法律にのみ則った情報を提供しております。他の管轄地域又は国の実体法または輸出法に関しては、いかなる種類の表明又は保証も行いません。ここに提供している情報が他の管轄地域の実質的な輸出又はその他の法令に準拠していることを輸出前に確認して下さい。ご不明な点がございましたらHenkel Product Safety and Regulatory Affairsにお問い合わせ下さい。

お客様各位、

ヘンケルは、バリューチェーン全体に沿ったさまざまな機会を促進することにより、持続可能な未来を築くことをお約束します。

SDSを紙から電子版に切り替えて受け取りたい場合は、最寄りのカスタマーサービスにお問い合わせください。

個人用ではない電子メールアドレス（例：SDS @ your_company.com）を使用することをお勧めします。

この情報は現況での化学的根拠と発送された製品の状況を元に作成したものである。またこれは安全を説明するための情報で、製品の特性を保証するものではない。

ここに表明したデータは信頼性があると考えられるが単に情報として挙げただけである。Henkel社のコントロールが及ばない人々が得た結果については責任を持たない。Henkel製品の適切性、特定目的で使用する際の製造方法、Henkel社製品の取扱いや使用に関わる危険性から人や資産を守るための予防処置などの見極めはユーザーの責任の元行われるべきである。以上の説明の元、Henkel社は、明示・暗示に関わらず、特定用途に対する市場性・適切性を含み、製品の販売・使用に関わるすべての保障への責任を拒否する。更にHenkel社は、損益を含むいかなる2次的・偶発的損害についての責任も拒否する。